



かがみ 鏡はどうしてうつるの

ひかり はんしゃ 光が反射する

よる でんしゃ の まど が ガラスが かがみ の ようになって、かお が うつったりするのは、光 が 反射しているからです。

そと あか が 明るいときは、とう 明な窓ガラスなのですが、よる 夜だったり、でんしゃ 電車がトンネルの中に入ったときはそと 外が暗いので、まど 窓ガラスに かお 顔がうつります。

ひょうめん 表面は つるつる しているのので、この 表面で 光を 反射しています。しかし、ひる ま 昼間は ガラスの 向こう側からくる 光が、その 反射よりもはるかに 強い ために、反射した 光はよく 見え ないのです。

ところが、よる 夜になって そと 外が暗くなると、ひょうめん 表面で 反射した 光が見えてきます。それで、まど 窓ガラスに かお 顔がうつります。

かがみ 鏡はガラスの後ろに銀がぬってある

ガラスの 後ろに 黒い紙と 白い紙を 置いて、くら 比べてみると すぐ わかります。かがみ 鏡が よく うつ りゆう 理由は、これと にて います。

かがみ 鏡は、ガラスの 後ろに 銀が うすく ぬって あります。この 銀は、ひかり 光を 全部 反射 します。ガラスの 表面も 光を 反射 していますが、ぎん 銀の 反射の ほうが 強いので、ぎん 銀で 反射した 物だけが はっきり かがみ 鏡に うつって 見えます。(監修・小川 格)

